

---

# 第30回定時株主総会

平成25年6月25日

JFE システムズ 株式会社

# 目的事項

## 報告事項

1. 第30期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第30期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

# 目的事項

---

## 決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役6名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

---

# 第30回定時株主総会

平成25年6月25日

JFE システムズ 株式会社

# 議決権行使状況報告

---

👉 議決権を有する株主様の総数

➤ 1,795名

👉 議決権総数

➤ 78,530個

# 本日の議決権行使状況

下記の議案に必要な定足数を満たしております  
(2ページをご覧ください)

		定 足 数
第1号議案	剰余金処分の件	定足数の定め無し (出席株主の議決権個数)
第2号議案	取締役6名選任の件	議決権総数の1/3 (26,177個)
第3号議案	監査役1名選任の件	議決権総数の1/3 (26,177個)
第4号議案	補欠監査役1名選任の件	議決権総数の1/3 (26,177個)

※ 議決権総数 (78,530個) 6

# 第30期監査結果の報告

---

## 会計監査人の監査報告

(26ページ～29ページをご覧ください)

# 第30期監査結果の報告

---

## 監査役会の監査報告

(30ページ～31ページをご覧ください)

# 第30期監査結果の報告

---

会計監査人および監査役会の  
監査結果の報告を  
終わらせていただきます。

# 第30期報告事項

---

- 事業報告
- 連結計算書類
- 計算書類

# 事業報告

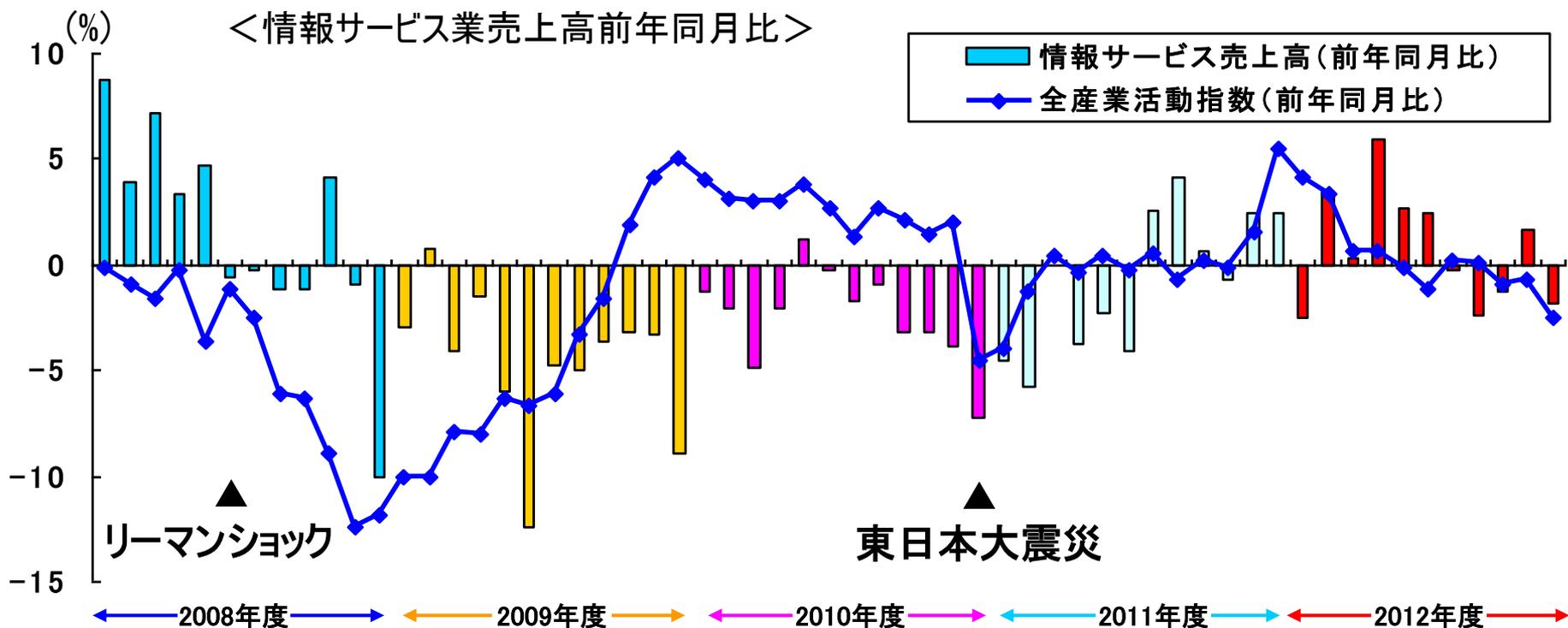
---

**2012年度** (2012年4月～2013年3月)

**事業の経過および成果**

# 事業環境認識

- 情報サービス業界はリーマンショック以降マイナス成長が続き、2011年度後半から2012年度上半期に回復の兆しが見えたが、下半期以降減速し需要回復に至らず。
- 鉄鋼業界も厳しい状況が継続し、JFEグループのIT投資も抑制傾向で推移。

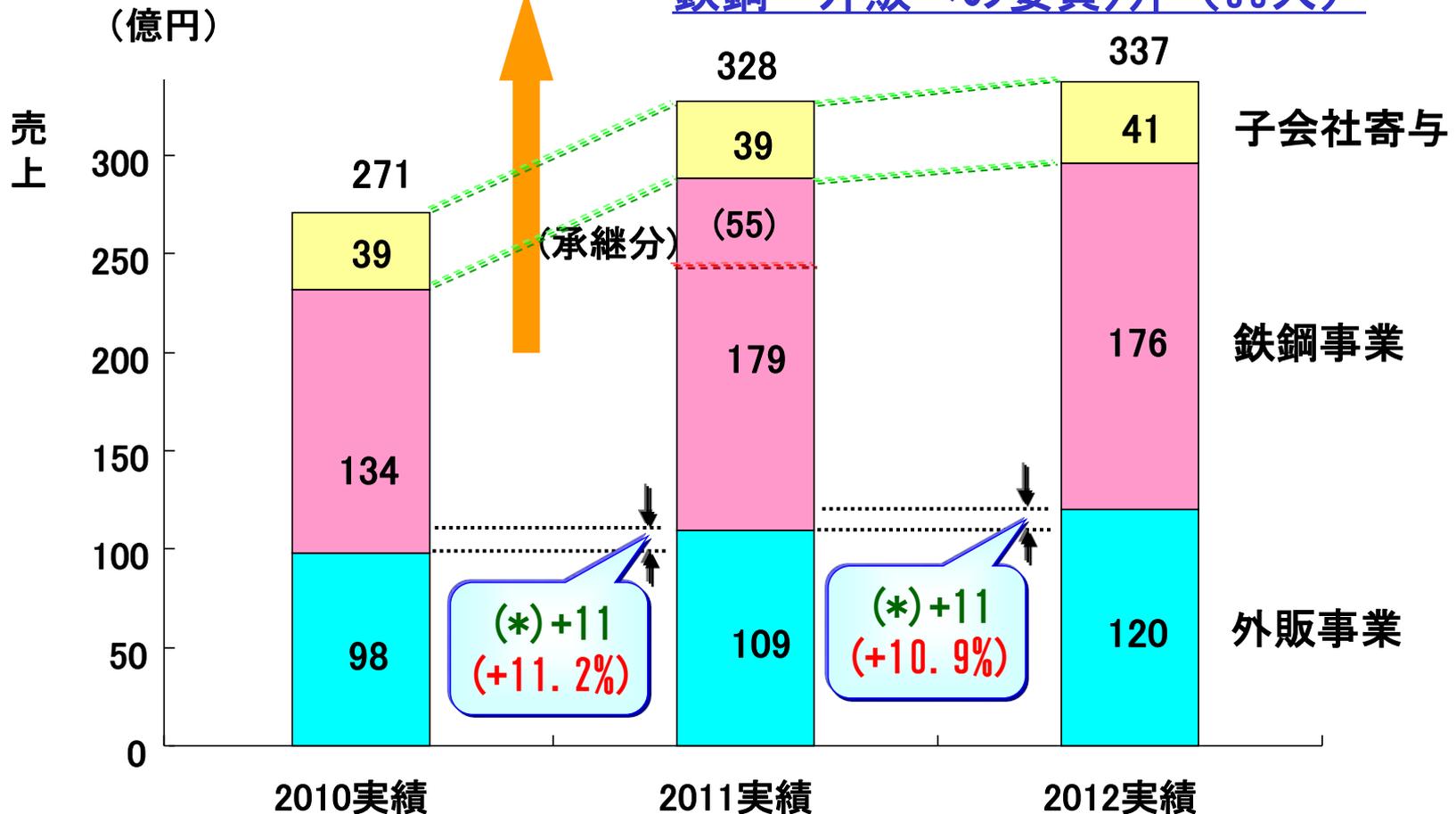


# 2011～2012年度の活動

外販拡大施策の推進  
(2期連続10%超成長\*)

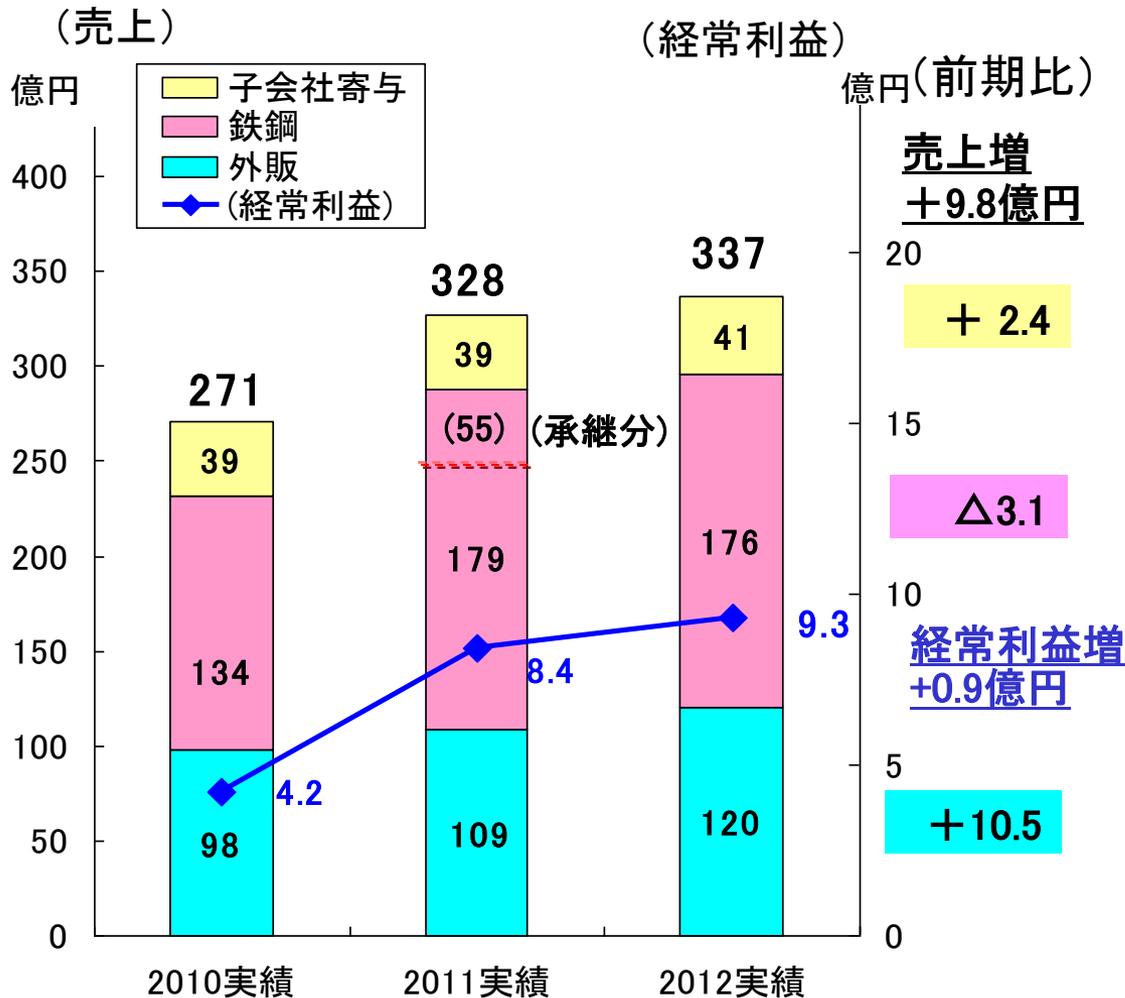
鉄鋼事業  
承継

鉄鋼→外販への要員シフト (50人)



# 2012年度業績の概要

■ 2期連続の増収増益を達成 → 成長路線へ回帰



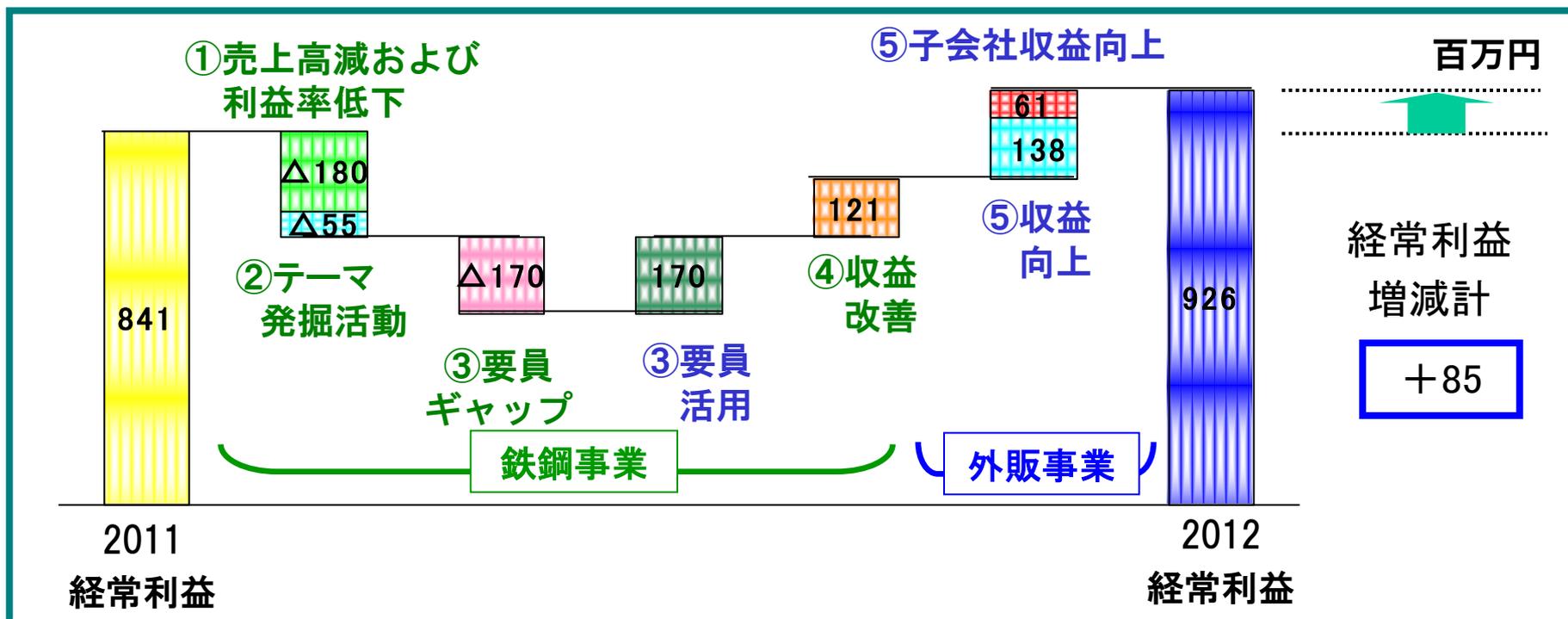
## <前期比売上増減>

連結子会社寄与	(億円)
・インフラサービス等増	+2.4

鉄鋼向け事業	(億円)
・スチール向け	△2.9
・グループ会社	△0.2
<b>合計</b>	<b>△3.1</b>

外販事業	(億円)
・製造流通向け	+13.4
・食品品質	+1.5
・原価管理	+1.2
・電子帳票	±0.0
・金融向け	△2.9
・その他	△2.7
<b>合計</b>	<b>+10.5</b>

# 2012年度 経常利益増減の要因



主な経常利益増減要因	金額
①鉄鋼事業売上高減少、利益率低下(案件構成の変化)による収益悪化	△180
②鉄鋼向け新規テーマ発掘活動費(鉄鋼システム共通化検討etc.)	△55
③鉄鋼での要員需給ギャップ発生に対して、外販への異動・活用を実施	±0
④鉄鋼事業の収益改善	+121
⑤外販事業および子会社の収益向上	+199

# 2012年度のトピックス

1 ■「KPI Mart」が、SAPソリューション導入パッケージに認定

2 ■当社が東芝インフォメーションシステムズのシルバーパートナーに認定

3 ■当社サイトが日興アイアール社による『2012年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査』において、総合ランキング優良企業ホームページに選定（全上場企業3,570社中88位）



# 2013年度に取り組むアライアンス

新たなビジネスチャンスの創造と、協業による成長を目指し、積極的なアライアンスを推進しています。

## 2013年度プレスリリース事例

<2013年4月9日>

- コクヨS&T(株)と連携し、電子帳票のクラウド配信サービスを開始

帳票生成・配信連携ソリューション

伝票@TOVAS



データ保存・配信ソリューション



DataDelivery®

<2013年5月8日>

- (株)オービス総研とBI/ビッグデータ活用システム分野で協業



オービス総研



JFE システムズ 株式会社

<2013年5月23日>

- (株)ビジネスブレイン太田昭和に出資し、戦略的な業務提携を推進
  - 相互の技術、顧客基盤を活用し業容拡大につなげる。
  - 連携強化のため株式3.1%取得



株式会社ビジネスブレイン太田昭和



JFE システムズ 株式会社

# 連結計算書類

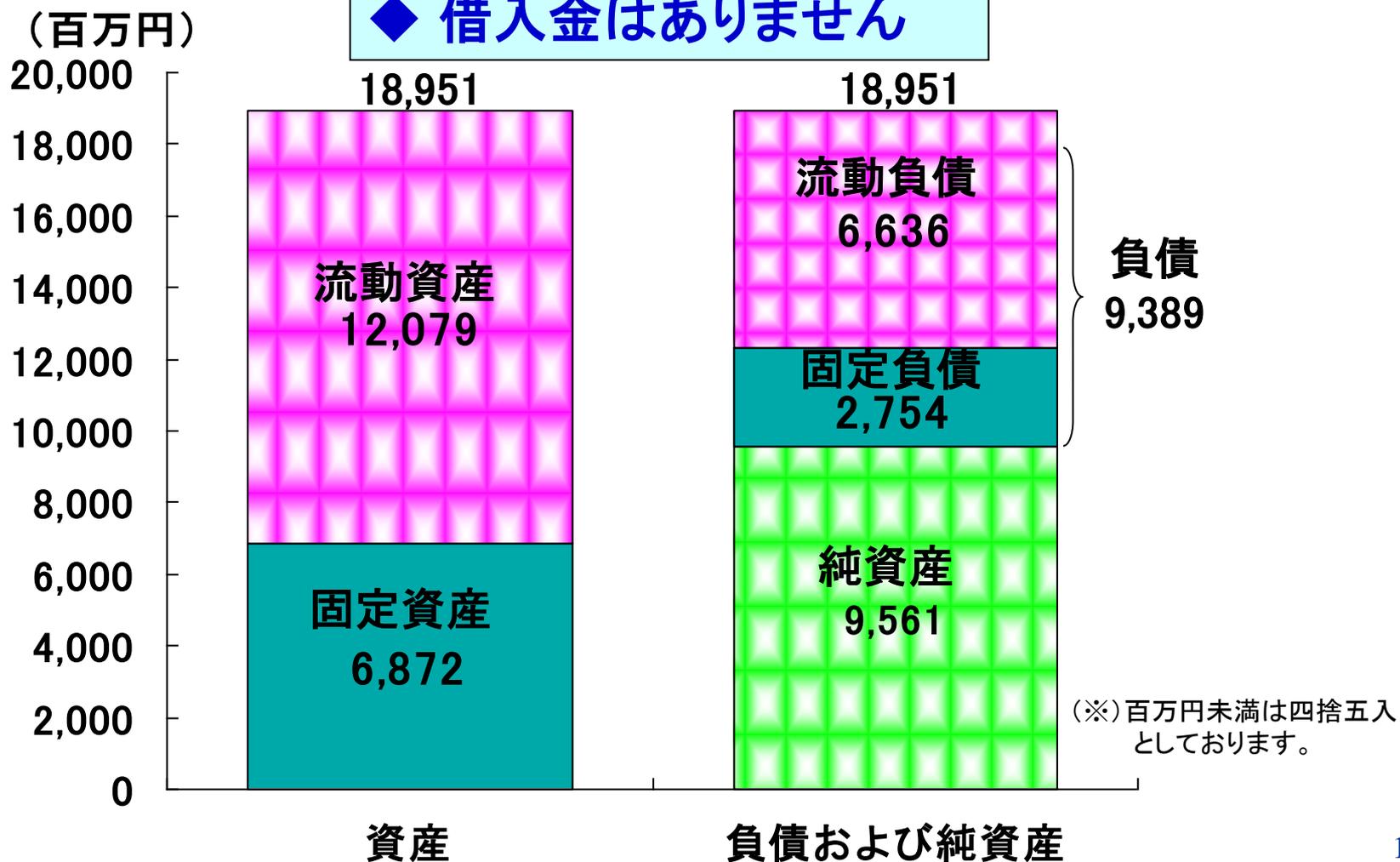
---

## 2012年度末(2013年3月末) 連結貸借対照表

(20ページをご覧ください)

# 2012年度末(2013年3月末) 連結貸借対照表の概要

- ◆ 自己資本比率 49%
- ◆ 借入金はありません



# 連結計算書類

---

## 2012年度 (2012年4月～2013年3月) 連結損益計算書

(21ページをご覧ください)

# 2012年度(2012年4月～2013年3月) 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2011年度	2012年度	増減	
			金額	率
売上高	32,754	33,736	982	3.0%
営業利益	878	923	45	5.1%
経常利益	841	926	85	10.1%
当期純利益	352	503	148	42.9%

(※)百万円未満は、四捨五入としております。

# 計算書類

---

## 2012年度計算書類

23ページから25ページに記載のとおりです

# 事業報告

---

2013年度業績見通しと  
競争力強化への取組み

---

# 競争力強化への取組み

# 競争力強化への取り組み

SI

新規顧客開拓

重点顧客領域拡大

ポイント②

ERPを核とした  
複合ソリューション展開

- ERP
- 自社ソリューション  
(原価、計画、最適化etc.)

技術の  
横展開

外販ソリューションを活用

鉄鋼海外システム構築

他の海外案件や外販に展開

e<sup>2</sup>コメントソリューション拡大

- FiBridge II
- 帳簿データ保存ソリューション  
「DataDelivery」

食品ソリューション拡大

●Mercrius/Quebel

ポイント③

- MerQurius統合
- MQネットサービス

プロダクト  
ソリューション

ポイント①

組織、地域を越えた  
システム共通化

ソリューション相互活用

Webデータベース「Wulcanus」

鉄鋼

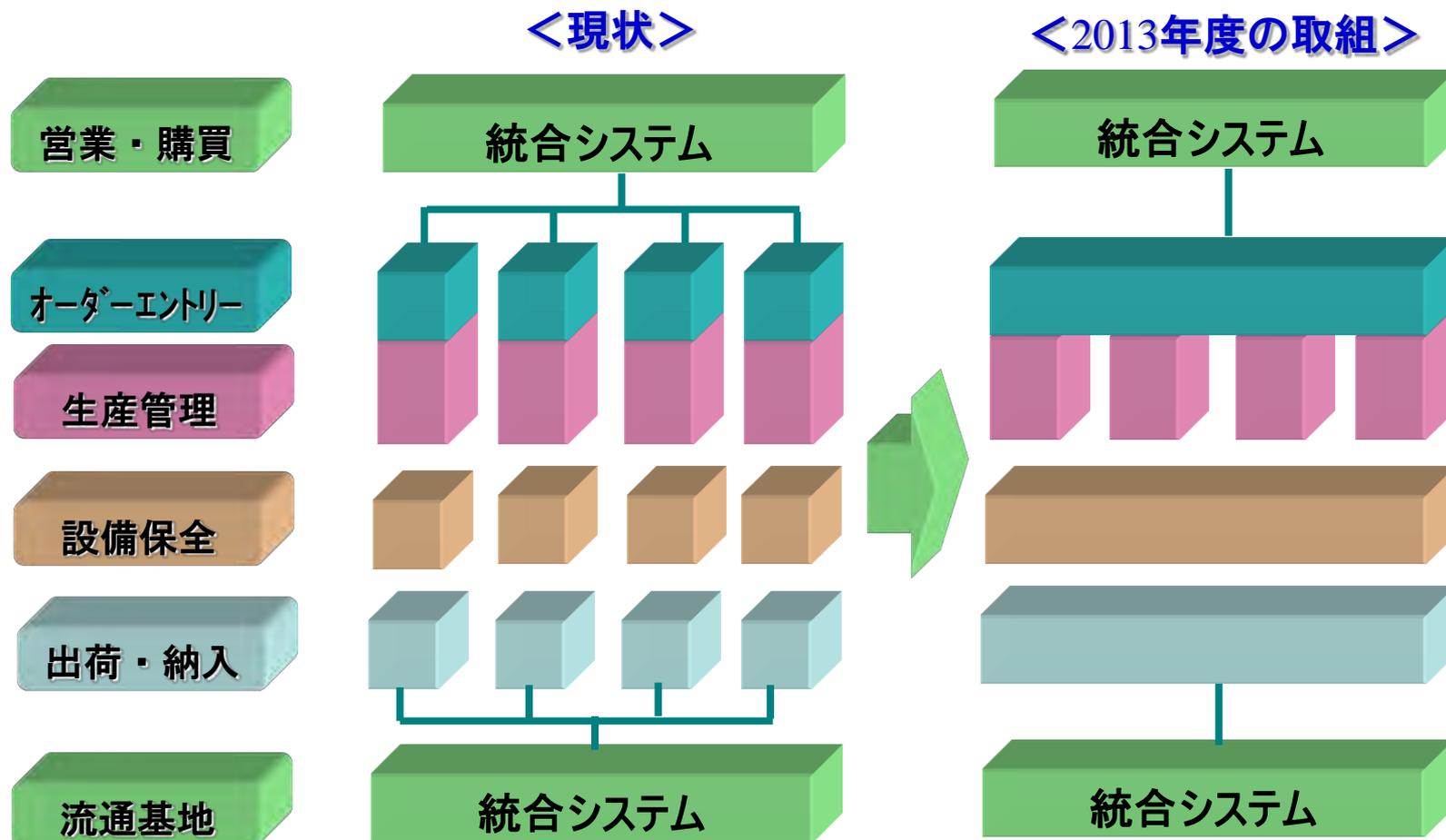
# ポイント① 鉄鋼システム共通化によるリフレッシュ・プラン作成

## 狙い

■ 個別製鉄所の枠組みを越えて、全社システムの共通化課題を研究

⇒ 製鉄所システムのリフレッシュ・プラン作成へ

- ① システム共通化の理想形を描く      ② 具体的なシステムテーマの企画提案／開発



# ポイント② 製造流通ビジネスの強化・拡大

【自動車向け売上推移】



既存重点顧客の  
領域拡大

製造業に精通したコンサル・  
プロマネを育成し、重点的に配置

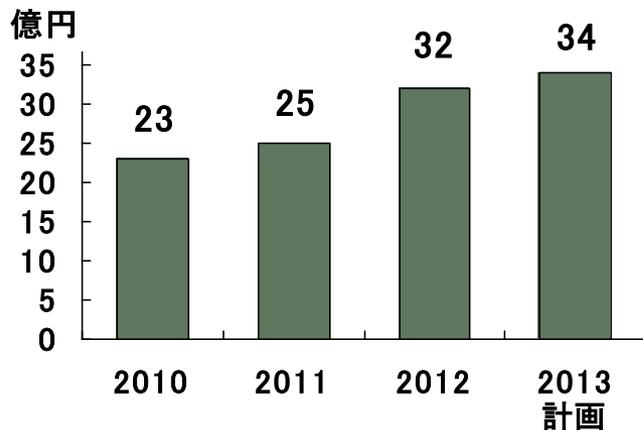
お客様の信頼を更に向上させ、  
担当業務領域を拡大

自動車メーカーに重点を置いた  
戦略を強化

顧客ニーズ

グローバル展開への対応  
各企業システムの老朽化  
業務・コストの見える化

【製造流通(SIソリューション)売上推移】



新規顧客開拓  
(基幹システム)

ERPを核として、自社ソリューション  
(原価、調達、SCM等)を組み  
合わせた統合ソリューションを整備

業種・ターゲットを集中した  
営業活動を展開

グローバル展開を進めるお客様  
への提案力を強化

# ポイント③ 食品ソリューションの戦略的な拡充

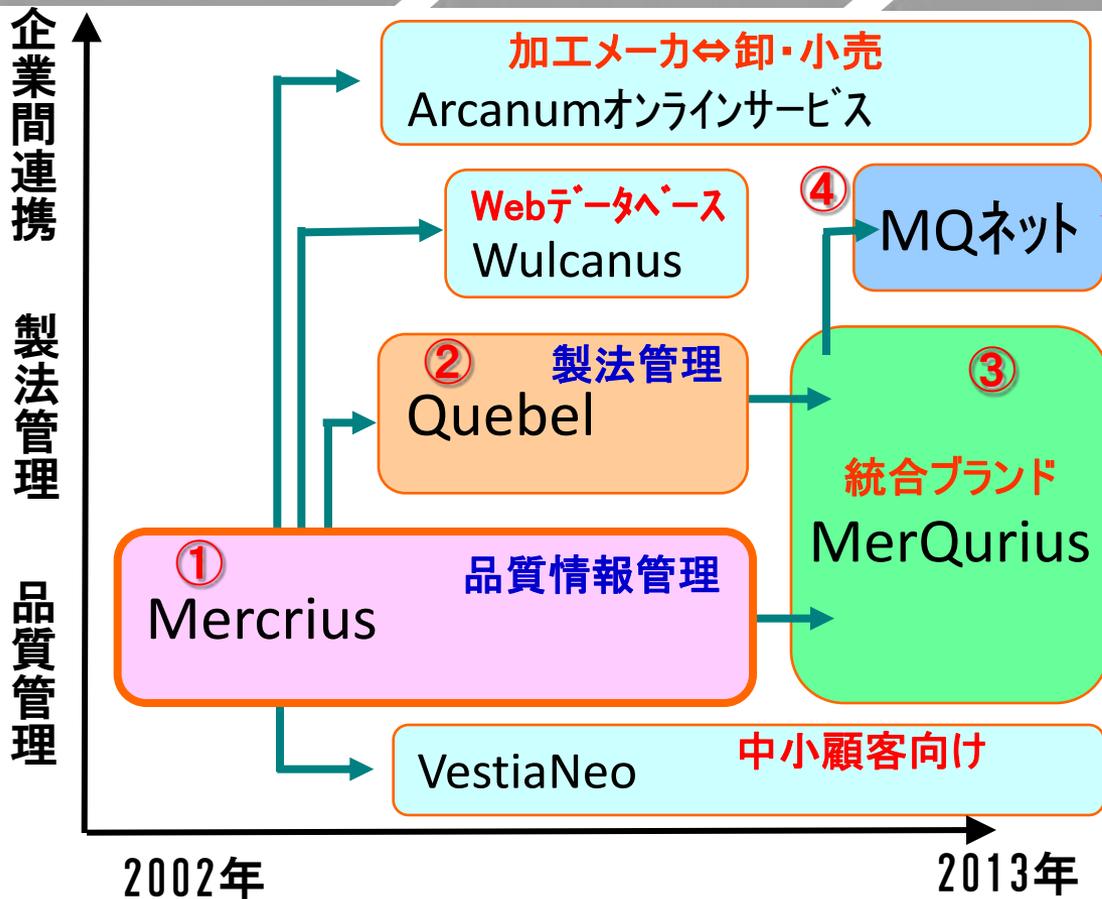
■原料～加工～流通をカバーするラインアップで大手・中小顧客**100社超**に提供

①2002～  
品質管理システム  
**Mercrius**  
をスタート

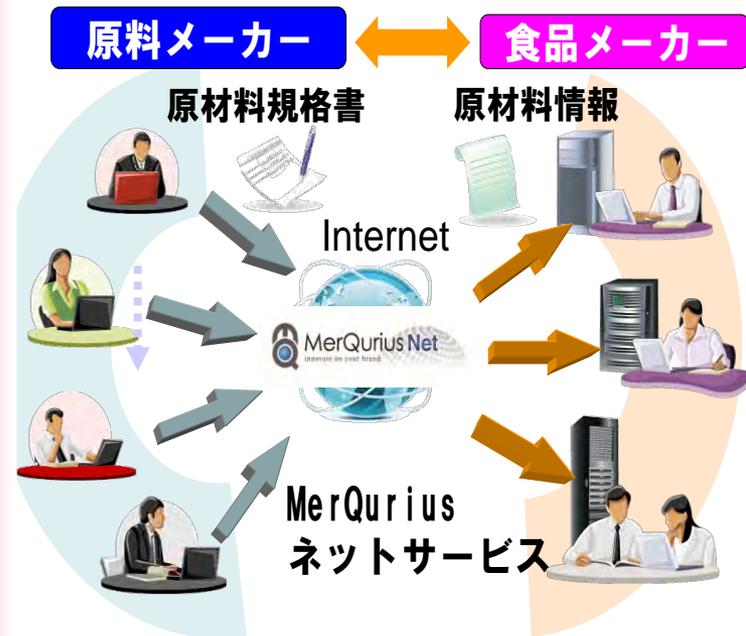
②2007～  
製法管理システム  
**Quebel**  
を展開

③2011～  
MercriusとQuebel  
を統合し、  
**MerQurius**へ

④2012～  
**MerQurius**  
ネットサービス  
で企業間を連携



## MerQuriusネットサービス



原料メーカーと食品メーカーをクラウドで情報連携  
(2012年12月よりサービス開始) 28

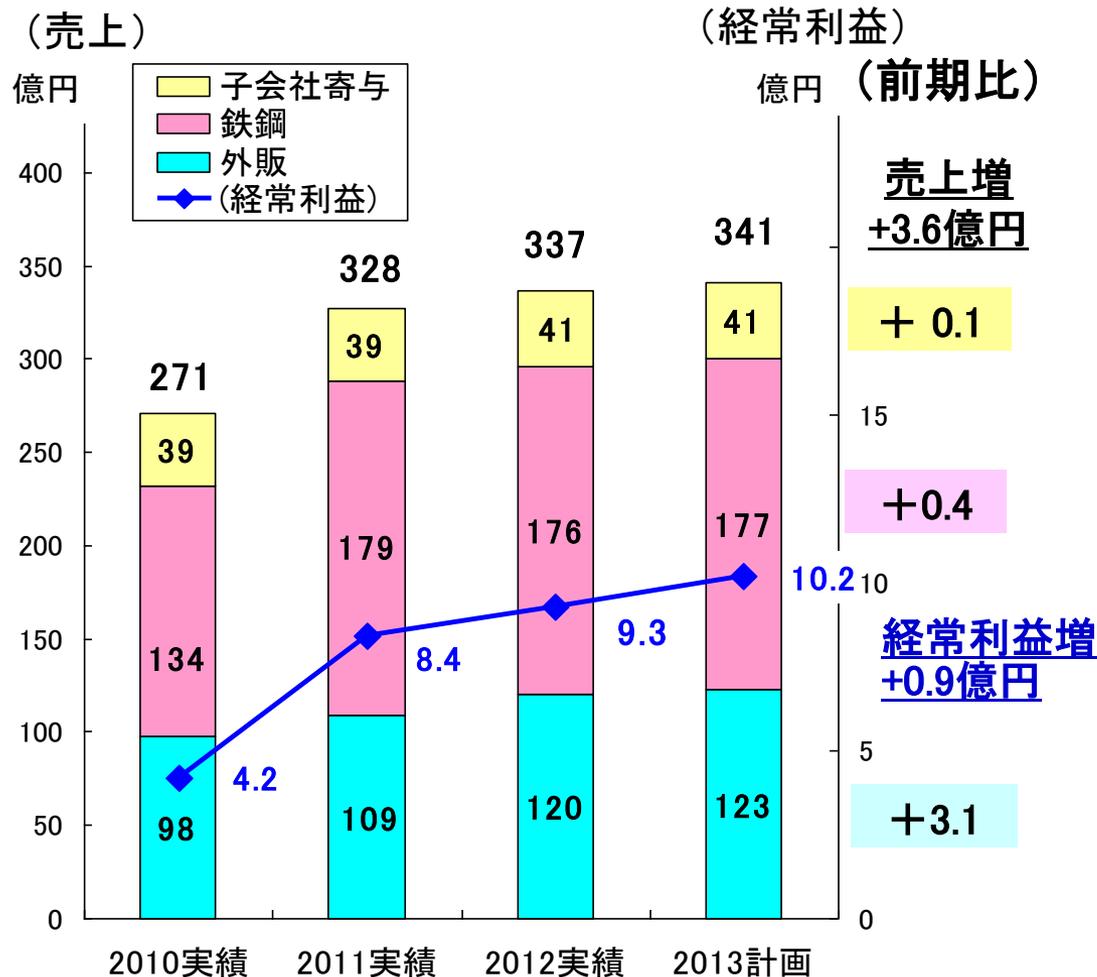
---

# 2013年度業績見通し

(2013年4月～2014年3月)

# 2013年度見通し概要

- 競争力強化施策を更に推進し、外販事業の売上を拡大（製造、電子帳票、食品品質）
  - 開発品質・生産性向上、高収益プロダクトの更なる展開による収益向上
- ⇒ 2008年度以来の経常利益10億円超を目指す。



## <前年比売上増減>

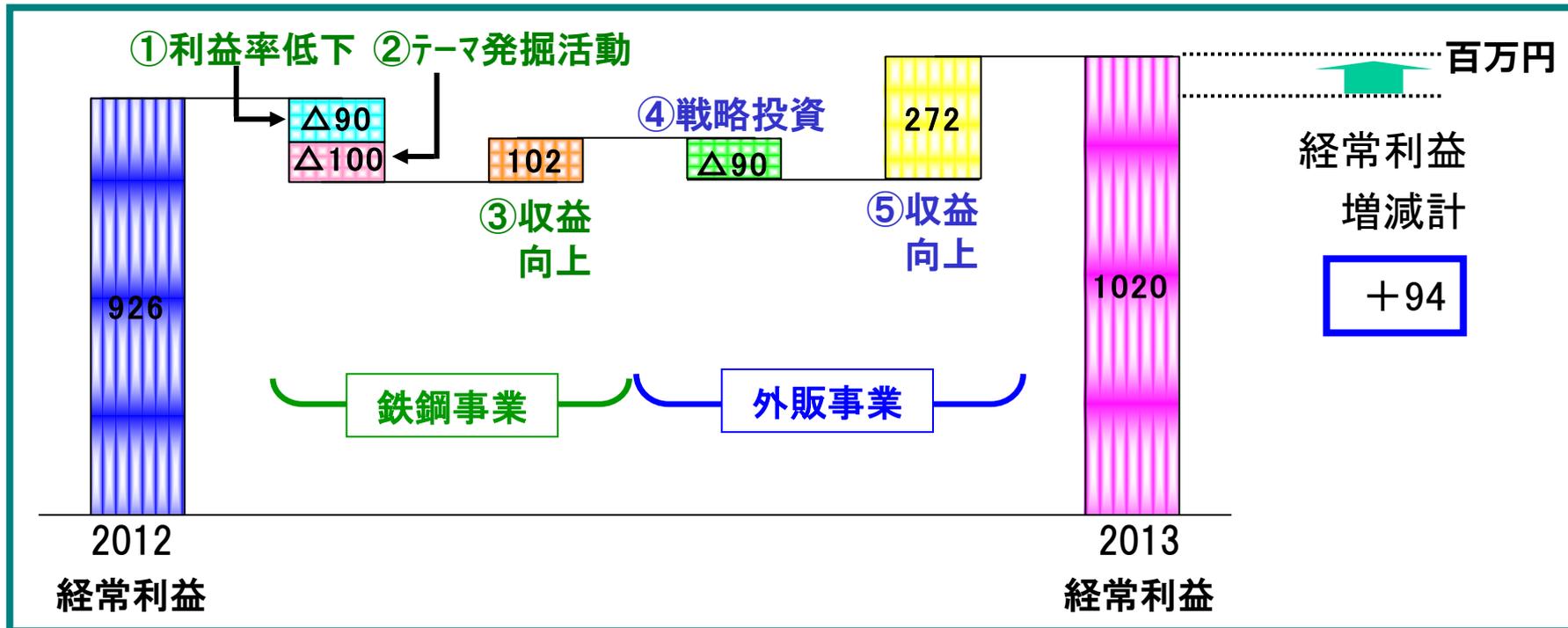
<b>連結子会社寄与</b>	(億円)
・ほぼ前期並み	+0.1

<b>鉄鋼事業</b>	(億円)
・ほぼ前期並み	+0.4

<b>外販事業</b>	(億円)
・製造流通向け	+2.6
・電子帳票	+1.1
・食品品質	+1.0
・金融向け	△0.3
・その他	△1.3

<b>合計</b>	<b>+3.1</b>
-----------	-------------

# 2013年度見通し 経常利益増減の要因



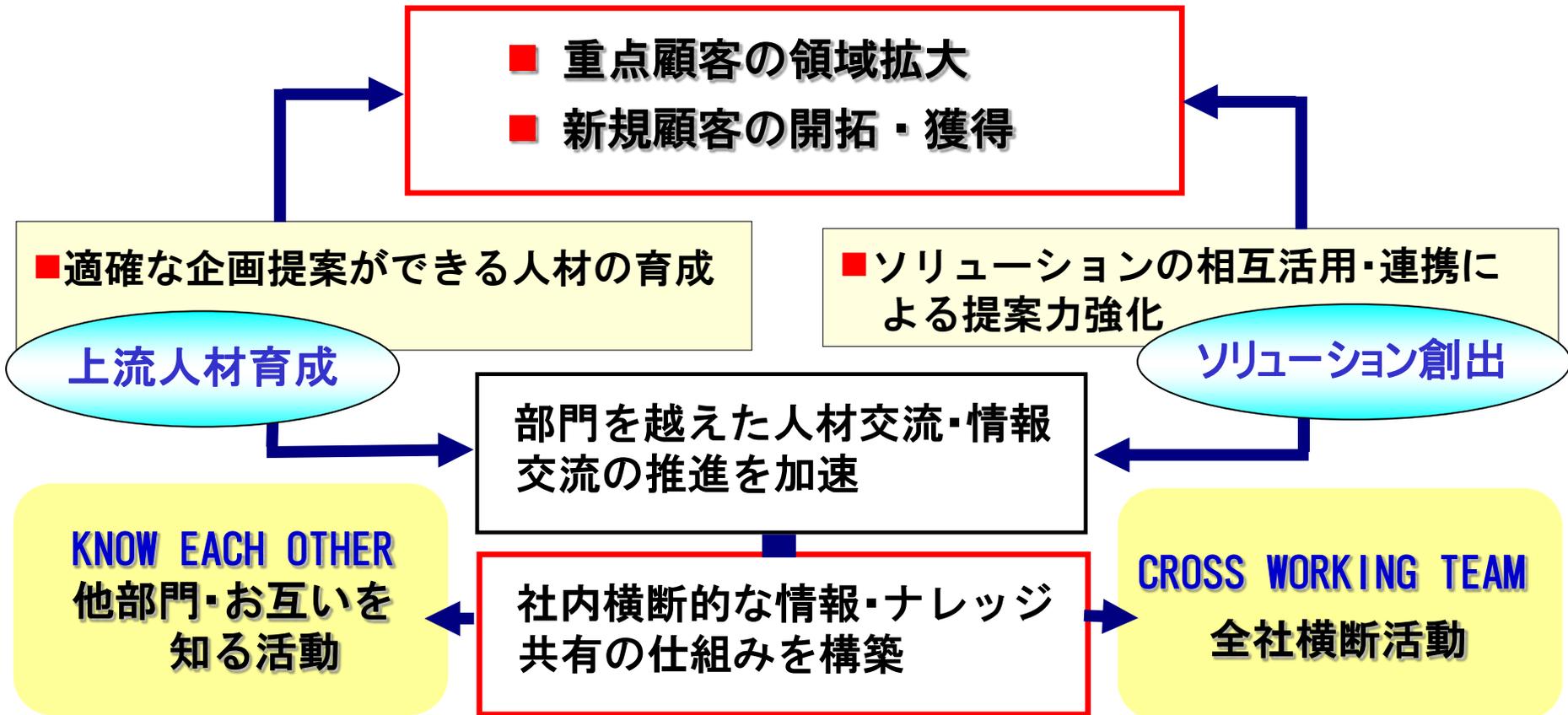
主な経常利益増減要因	金額
①鉄鋼案件の構成変化等で利益率低下	△90
②鉄鋼向け新規テーマ発掘活動費(鉄鋼システム共通化検討etc.)	△100
③鉄鋼事業収益向上	+102
④全社戦略推進のための投資増(基盤ビジネス拡大のための投資等)	△90
⑤外販事業収益向上	+272

---

**更なる成長にむけて**

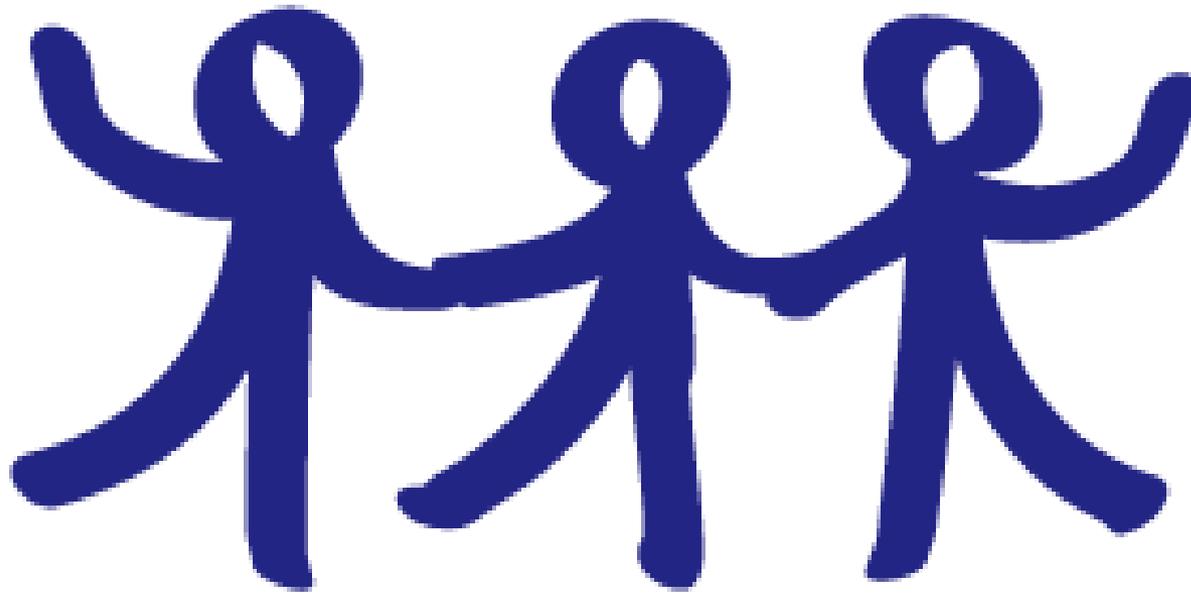
**～30周年 活性化活動～**

# 30周年 活性化活動



- ◇社内SNSの導入（10事業所にまたがる社員間の情報・ナレッジ共有）
- ◇スマートデバイスの全社導入（BYODを含むスマートフォンの全面利用）
- ◇ワークスタイル変革（WEB会議による拠点間コミュニケーション強化等）

**KNOW EACH OTHER**



**JFE システムズの夢を語ろう**

# CROSS WORKING TEAM(全社横断活動)

- 創立30周年を機に全社的に新たな活動として、「風土改革」、「コミュニケーション活性化」、「ダイバーシティの推進」をキーワードにスタート。
- 全10事業所から立候補した若手～中堅社員(33人)が6チームに分かれ、会社活性化の提言を行うと同時に、組織を越えた全社横断的な人材・情報交流を推進。



# 報告事項

---

以上をもちまして  
報告事項の説明を  
終わらせていただきます。

# 第1号議案 剰余金処分の件

## 期末配当に関する事項

(32ページをご覧ください)

### 当社の利益配分の基本方針

中長期的な事業計画のもと、再投資のための内部留保と安定配当を念頭に、財政状態、利益水準、配当性向を総合的に勘案して決定

当社普通株式1株につき **金2,000円**

# 第2号議案 取締役6名選任の件

## <取締役候補者>

菊川 裕幸

西崎 宏

堀田 善一

渡部 尚史

山本 崇博

都築 正行

33-36ページ  
をご覧ください

# 第3号議案 監査役1名選任の件

---

＜監査役候補者＞

岡井 哲

37ページを  
ご覧下さい

# 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

---

## <補欠監査役候補者>

中畑 達央

38ページを  
ご覧下さい

# 閉 会

---

本日はご多用のところ  
ご出席いただきまして  
誠にありがとうございました。

JFE システムズ 株式会社